

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6 年 5 月 15 日 更新

事務事業名		地域再生拠点創造事業				☒ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連					
総合計画体系	政策	6	産業の健康				所属部	産業振興部	課長名	坂本 卓博	
	施策	26	農業の振興				所属課	農政課	担当者名	安武 恭一	
	施策の柱	70	後継者の育成				所属班	農政班	(内線)	5222	
予算科目		会計一般	款 6	項 1	目 5	事業連番 11560	根拠法令				
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 22 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)				

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	川崎フロンターレと令和2年9月に農産業やスポーツの振興をはじめ地域活性化のための連携、協力等に関する協定を締結していることから関東方面への販路拡大を図る。 本市の農産物や加工品の高付加価値化に取り組み、併せて新商品のマーケティングに努め農業者の所得向上と生産基盤の維持に努める。付加価値を付けた新商品の研究・開発と、実需者に向け合志市で生産された農産物の味・機能性を広くPRすることで、農業者の生産意欲向上と所得増大が望め、同時に地域の活性化につながる。
【業務の流れ】	川崎フロンターレと連携し、本市特産物で秋に出荷される珍しいスイカ、ハロウィンスイカ販売促進会の開催を実施
【主な予算費目】	旅費、需用費、役務費、公課費
【意見や要望】	地元で生産された農産物や加工品を広く周知してほしい。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO) 農産物販売促進を目的に、川崎フロンターレとの農産業やスポーツ振興をはじめとした連携、協力等に関する協定に基づき、関東圏への販路拡大活動(「九州熱闘合志園」(物産展)の開催、ハロウィンスイカの販促活動等)の情報発信を行った。		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 川崎フロンターレと組織同士での取り組みとして協定を締結し、県内農業団体とも覚書を締結しており、県内農業団体と連携し、物産展等で情報発信を行っていく。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ ア: 物産展実施回数	回	農業販路拡大に伴う企業訪問及び消費者動向調査旅費回数減による普通旅費の減	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
農業者		→ ア: 促進販売した商品数	個
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
農産物、加工品等の市内外へのPR、農業者等の販売促進と販路拡大を図る。		→ ア: 物産展への出店者数	店
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠 合志市農産物の販売促進活動を推進するため。			総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移											
		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込	
① 活動指標		ア回	1	1	1	1	1	1	1	1	
② 対象指標		ア個	3	10	10	2	10	10	10	10	
③ 成果指標		ア店	2	6	10	1	10	10	10	10	
投資 入費 量	事業 内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	527	215	494	354	228	494	494	494
	(A) 事業費計	(A) 事業費計	千円	527	215	494	354	228	494	494	494
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		人件 費	正規職員従事人数	人	2	2	3	1	3	3	3
延べ業務時間	時間		30	30	150	100	150	150	150	150	
(B)人件費計	千円		117	114	597	364	597	597	597	597	
トータルコスト(A)+(B)			千円	644	329	1,091	718	825	1,091	1,091	

事務事業名	地域再生拠点創造事業	所属部	産業振興部	所属課	農政課
-------	------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部（CHECK）

*原則は 5 年度的事後評価、ただし複数年度事業は 5 年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5 年度目標達成度評価	☒ 達成した 川崎フロンターレと連携し付加価値を付けた加工品等の情報発信を行うことができた。
	② 6 年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 取組が定着してきている。今後は地道な活動を継続することはもとより、活動を広く知ってもらうためにメディアを活用し他地域への活動を広げるよう発信する。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 農産物や加工品の高付加価値化のため、このような取組みを一層強化する必要がある。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある⇒（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 事業遂行のための最小限の予算であるため削減余地はない。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 最小限の事務で行っているため、削減の余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 合志市の農産物や加工品等を不特定多数の人々に情報発信することができたため公平・公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 農産物や加工品等の販売促進事業であることから、行政がその役割を担うものである。

3 評価結果の総括（CHECK）

コロナ禍であったが物産展を開催し、来場者からは高い評価を得ることができた。今後も継続していく。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）				(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持																											
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																												